



# しいのみつうしん

第98号 2019年5月



## 5月31日は「世界禁煙デー」です

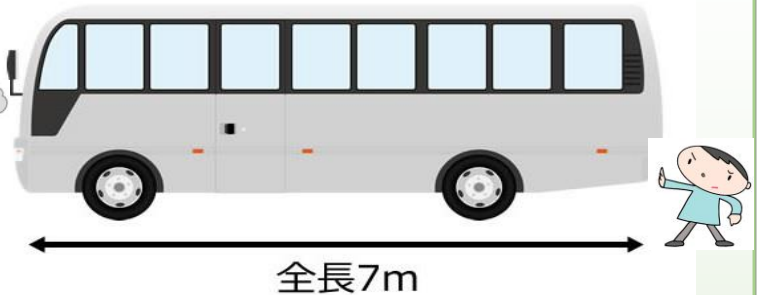
「世界禁煙デー」は WHO(世界保健機関)によって 1988 年に定められました。

「たばこが健康に悪影響を与えることは明らか」(厚生労働省ホームページ「世界禁煙デー」のページより)であり、近年では喫煙者以外のひとでも、他人が吸うたばこの煙を二次的に吸引する(吸わされる)ことで発生する新たな健康被害「受動喫煙」が大きな問題となっています。

### 受動喫煙とは

受動喫煙は、健康増進法第 25 条で「室内又はこれに準ずる環境において、他人のタバコの煙を吸わされることをいう」と定義されています。**受動喫煙による年間死亡者数は世界で約 60 万人、日本で 1 万 5 千人と推計されています。**

- 呼吸機能の低下
- 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
- 小児喘息の誘発・悪化
- 肺がんなどの発がん
- 虚血性心疾患や脳卒中などの循環器疾患
- 乳幼児突然死症候群



7メートル離れようとするなら、  
これくらい必要です

これらの疾患と受動喫煙との関連が示されています。しかしながら、日本の受動喫煙対策や、受動喫煙の害に関する国民への啓発は十分ではありません。

屋内だけでなく屋外でも受動喫煙防止対策が必要です。わずかな煙成分にも反応する喘息患者さんもいるので、屋外でも受動喫煙対策は必要です。タバコの煙の臭いと発がん物質は、半径 7メートルまで届くことが明らかになっているので、屋外の喫煙場所は人が通行する場所から少なくとも**半径 7メートル以上は離す必要があります(コンビニエンスストアの喫煙所はせいぜい 4~5メートルですから、まったくもって不十分です)**

## 新型タバコの有害性と問題点

新型タバコ(電子タバコ、加熱式タバコなど)は、従来のタバコと比較して、発生する有害成分の量が少ないとされ、有害性の軽減(ハームリダクション)が期待されていますが、実際に有害性が軽減されるかどうかの結論は出ていません。

タバコ会社の自社データでは、有害成分の量が90%以上削減されたといいますが、すでに複数の論文で、従来のタバコに匹敵する量の有害成分が新型タバコで多数検出されたと報告されています。



また、新型たばこがあたかも「燃焼たばこをやめられない人の禁煙に替わる次善の策」であるかのように主張する向きについても、専門家は警鐘を鳴らしています。

日本呼吸器学会は新型たばこの使用と病気や死亡リスクとの関連性については「科学的な証拠が得られるまでには、かなりの時間を要」するため、上記のような主張は「推測にすぎません」と厳しく批判しているのです(「非燃焼・加熱式タバコや電子タバコに対する日本呼吸器学会の見解」より)。

## 新型タバコでも受動喫煙は発生する

受動喫煙は、副流煙だけで生じるものではありません。吸った人から吐き出される主流煙(呼出煙)によっても、受動喫煙は十分生じます。加熱式タバコでは、主流煙が見えにくく、臭いも少ないため分かりにくいですが、特殊なレーザー光を当てると、吐き出された煙(エアロゾル)が周囲に大量に漂っている様子が確認できます。

燃焼たばこの煙なら色や臭いで避けることも可能ですが、**目に見えず、臭いも少ない新型たばこの煙は非常にやっかい**なのです。

しいのみ薬局	関市上白金 105-1	☎0575-27-0130	Fax 0575-27-0131
しいのみセンター薬局	岐阜市北山 1-14-27	☎058-241-1818	Fax058-241-1839
華陽しいのみ薬局	岐阜市祈年町 1-19-2	☎058-271-1640	Fax058-275-1949
南しいのみ薬局	岐阜市芥見南山 2-8-47	☎058-244-2112	Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関してお気軽にご相談下さい。

ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.gifu-min.jp/pharma/>)